

# The Girl Who Picks Flowers and The Girl Who Kills Insects

花を摘む少女と虫を殺す少女

Director: HITOSHI YAZAKI Cast: NICOLE MARLENE 川越美和 太田義孝 SIMON FISHER TURNER PAUL McKEE 趙方豪

Executive Producers: 安藤 裕之 矢崎 聰司 Screenplay: 萬 鉄子 / TANYA GRASSLEY / 矢崎 仁司  
Cinematographer: PETER MORRIS Editor: 宮崎 裕史 Original Music Composed by: ADOLPHE ADAM  
Music Performed by: 牧野 三朗 Original Music Composed and Performed by: SIMON FISHER TURNER  
Presents: FILM BANDITS Distribution: OMURO PICTURES Photo by: 田中 佳夕



# The Girl Who Picks Flowers

and 花を摘む少女と虫を殺す少女

# The Girl Who Kills Insects

ひと ひと 愛する“男性”よりも大事にしたい “女性”がいる。 ともだち

2000年製作/ヨーロッパアンヴィスタサイズ/カラー/デジタルビデオ/3時間56分

出演：ニコル・マルレーネ/川越美和/太田義孝/サイモン・フィッシャー・ターナー

監督：矢崎仁司 製作：FILM BANDITS 配給：オムロビクチャーズ

R-15

前作『三月のライオン』で繊細な映像世界を築き上げ、国内外で熱狂的に支持された矢崎仁司監督が、9年ぶりに送り出すファン待望の意欲作。古典バレエの有名戯曲「ジゼル」をモチーフに書き上げたオリジナル脚本で、ロンドンを舞台に、4人の男女の愛と裏切り、夢と絶望、生と死を、デジタルビデオを駆使した独特な映像美で感性豊かに描いた作品である。

**story:** ドイツからロンドンにやってきたバレエダンサーのヴェロニカ(ニコル・マルレーネ)は、突然、次の舞台のプリマドンナ・ジゼル役に抜擢される。期待と不安を胸にレッスンを送る日々。そんな中、相手役のダンサー、サイモン(サイモン・フィッシャー・ターナー)に愛を告白される。しかし、ヴェロニカは英会話学校で出会ったケン(太田義孝)に惹かれ、やがて二人は愛し合うようになる。

日本からロンドンにやってきた女優のカホル(川越美和)は行方不明の恋人カズヤを捜していた。ある日、ホテルで出会ったカホルとヴェロニカは、すぐに仲良くなり、お互いの恋の悩みを相談し合うようになる。ヴェロニカはケンやカホルと出会ったことでジゼルを演じることに自信を得ていく。一方、カホルは恋人カズヤと再会し、再び愛し合うようになるが、ヴェロニカの恋人ケンとカズヤが同一人物であることを知ってしまう。

そして公演前夜、ドレスリハーサルの日に、悲劇は静かに幕を開けるのだった。



■矢崎仁司はまだいきているのが、どこにいるのが、と思っているといつも彼は、いのちをたつぷりとこめた新作をたずさえてあらわれ、しずかにわれわれをおどろかせる。この4時間の巨編もまた、こまやかな息づきのリズムがわれわれをやわらかな水のようにつつんで外的な時を忘れさせる。フィルムだけでなくビデオテープにもここまでいのちをこめられる。矢崎だからだ。

宇田川幸洋さん(映画評論家)

■悲劇の裏側にある美しさ……子供の頃、TVでやっていたバレエ「ジゼル」を見ていて、亡霊となったジゼルが墓の前で踊る姿があまりにもきれいだっただけで、その辺の広告の紙の裏に急いで描いたことを、この映画を見ながら突然思い出しました。

瀬川貴子さん(ミュージシャン)

■天使と妖精が会って、女になった。 松井誓士彦さん(映画監督)

■やさしさと残酷、あたたかさをつめたい、自分と愛するひと、時間。なぜか強くそんなふうなことを思った。 魚喃キリコさん(漫画家)

■見ていると、なんだか自分が監督になり、この映画を撮っているような気になる、素敵な体験だった。忘れられないエピソードがあまりに多くて、思いだすだけで、せつない。もし矢崎監督が、ストレートスタイルの映画を撮ったら、誰もかなわないだろうね。この映画、大好きだ。 西田俊也さん(小説家)

■もしかしら登場人物達は幸せだ。カメラとマイクと観客が、彼らの人生を物語りにしてくれた。だって私たちには、それがない。言葉にもならず自分の内を同道巡るだけ。 やまだなと(漫画家)

■たくつな世界をのぞきつづけながらも、日常の中に詩を発見する実験的な手法でヤザキヒトシは映像による長編詩を作った。

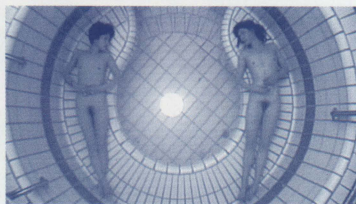
辻 仁成さん(作家、映画監督、ミュージシャン)

■少女の心があんまり裸っぽうで、キリキリと痛んだ。

2階建てバスに乗っている2人は、確かに何からも自由に見えたのに。それにしてもなでやさしい光。全てが美しい夢のように。その中で、彼女たちはいつの時も痛いほど真実に生きている。私も歩いていこう。大丈夫。この世界には、こんなにも隈なく、神様の光が降り注いでいるのだから。どうもありがとう。(岸 和代さん/試写会にて)

■あつという間の4時間でした。

出演者の人生を持ち寄って、矢崎ワールドに包まれたという感じでした。(薫村麗子さん/試写会にて)



## 11月18日(土)より待望のロードショー!

11/18(土)~12/1(金) 12:40 5:00

12/2(土)~12/8(金) 6:30

特別鑑賞券2000円好評発売中!!

■当日/2500円均一 ★リピーター割引/半券ご提示の方は1500円

★初日11/18(土)矢崎仁司監督舞台挨拶、オールナイトでトークショー予定!!

「花を摘む少女と虫を殺す少女」公開記念特別上映

1200円均一(チケット・半券お持ちの方は1000円)

『三月のライオン』11/11(土)~14(火)PM9:00~ 11/25(土)~27(月)AM10:30~

『風たちの午後』11/15(水)~17(金)PM9:00~ 11/28(土)~12/1(金)AM10:40~

※11/18(土)、11/22(水)、11/25(土)はオールナイトもあり。詳しくはお問い合わせ下さい。



地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分  
シネ・ヌーヴォ  
TEL.06-6582-1416  
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/